

令和4年第1回定例会 デジタル化推進特別委員会 中間報告

本特別委員会は、令和3年第2回定例会の最終日6月22日の本会議において、より専門性を高め、議会の独自性の観点に立って執行機関との連携体制を強固にしつつ、デジタルトランスフォーメーションの推進による議会のデジタル化を推進することを目的として設置され、これまで、下記のとおり、Wi-Fi環境やデジタル端末の所有状況の確認、オンライン会議の試行や勉強会を行ってきた。

今後については、改めて期日を定め、3月定例会以降に全議員が控室等の庁舎内からオンライン会議に参加できることを確認し、その後については、激甚災害等を想定し、各家庭を含む庁舎外からの接続の試行を続ける。

また、次年度以降、議場、委員会等諸会議におけるデジタル化推進の取組みに関し、①情報端末等を本会議や諸会議に持ち込むことについて、②本会議場や委員会室等の電源配線について、③ペーパーレス議会の推進について、④議会書庫のデジタル化について、⑤議会棟内の通信インフラの整備について、⑥狭山市議会オンライン会議システム運用規程等の検討について、⑦周辺機器の準備等その他の事項について協議を行っていくこととした。

記

令和3年度の取組

- ・ 6月22日 調査事項（1）従来の会議型式を原則としながらも、代表者会議、全員協議会、委員会協議会、議員研修会等のオンライン開催での実施を試行し導入できる体制を構築することで議会の危機管理体制の強化を図ること、（2）議場のWi-Fi環境の整備をはじめ、ペーパーレス化の推進・サイボウズによるデータクラウド管理運営の更なる充実・向上を図ること、について共有化を行った。
- ・ 6月25日 全議員のデジタル端末の所有状況とWEB会議システムの利用状況等についてアンケートを行うこととした。
- ・ 6月29日 「デジタル」という言葉の定義について委員会内で勉強会を実施した。
- ・ 7月16日 全議員のデジタル端末の所有状況と接続環境等のアンケート結果の確認を行った。また、今後の委員会の会議については、原則としてペーパーレスで行うこととした。
- ・ 9月17日 本委員会の委員にてオンライン会議を試行した。アプリケーションは個々の登録が不要であるツールを使用し、第2委員会室にて接続を確認後、各控室に戻り、これに再接続し、委員全員がオンライン会議への接続、発言、機能操作ができた。
- ・ 10月6日 本委員会の委員が、庁舎内、自宅、外出先などからオンライン会議に参加し、ほぼサポートなくオンライン会議に接続し、発言できることを確認した。今後の会議においては、接続環境の安定化や、本委員会の委員以外の議員へのサポートが課題という意見があった。
- ・ 12月13日 会派代表者が、各控室からオンライン会議への接続を確認した。この時、議会運営委員会委員も接続を確認できたため、概ねの議員が接続できることを確認した。